

■京都が舞台の映画『華の季節』（BRILLIANT SEASON）いよいよプレミアム上映

京都で生まれ育ったクリエイター、片岡れいこが、京都の文化の素晴らしさを国内外に発信することを目標に監督・制作した映画が、この度、京都シネマを皮切りに、全国公開に向けて始動いたします。

予告編動画視聴回数 27 万回超過！ 山本周五郎原作『菊千代抄』を、明治初めの京都・亀岡を舞台に、切なくも華やかに繰り広げる長編純愛ロマン、いよいよ京都・大阪にてプレミア公開！！（2023 日本 105 分）

* 京都シネマ 2023 年 10 月 13 日（金）～26 日（木）京都市下京区烏丸通り四条下ル水銀屋町 620 COCON 烏丸 3F | <https://www.kyotocinema.jp> | TEL：075-353-4723

* 大阪シネ・ヌーヴォー 2023 年 10 月 14 日（土）～27 日（金）

大阪市西区九条 1-20-24 | <http://www.cinenouveau.com/index.html> | TEL：06-6582-1416

* [特別鑑賞券 ¥1300] のお求めは

・チケットぴあ-P コード [京都シネマ：468281] [シネヌーヴォー：468282] (10/12 迄)

・ローソンチケット-L コード [共通：54300] (10/12 迄)

・ショップサイト [アートショップニコラ] (10/12 迄) <http://a-nicola.shop-pro.jp/?pid=176599573>

■お問い合わせ 0120-778-237 (グループ未来)

※開始・上映時間は劇場にお問い合わせください。

※関係者舞台挨拶がある日もございます。詳細は情報発信サイトなどをご確認ください。

■後援 亀岡市 ■文化庁支援事業 ARTS for the future! 2 ■制作/ワンウェイフィルム

『華の季節』（2023 日本 105 分）

～女は生涯、愛を封印し、男は愛に、生涯をかけた～

男として育てられた華族の娘・珠緒。その愛と葛藤の青春を瑞々しく描く、不朽の名作が京都・亀岡を舞台に蘇る。

家訓の為に男として育てられた華族の娘・珠緒。勇ましくあろうとする珠緒に、母親は冷たく、幼い頃から傍らにいた 10 歳年上の家庭教師・晃士郎だけが心を許せる友となっていた。しかし、初潮とともに自分の本当の性を知り、信じていた晃士郎に対し困惑の念を抑えきれなくなり…。

山本周五郎原作『菊千代抄』を、明治初めの京都を舞台に、切なくも華やかに繰り広げる長編純愛ロマン。

男でもなく、女にもなりきれず、性の狭間で苦悩する思春期の珠緒を、16歳の新人女優・松本杏海が体当たりで挑む。時代劇に関わらずスタジオ撮影無しで、全ての撮影を京都・亀岡の、美しい自然と現存する歴史的建造物の中で行った映像も見どころ。

主演 松本杏海 難波江基己 原作 山本周五郎『菊千代抄』 監督・脚本 片岡れいこ 監修・撮影監督 安田淳一 脚本・美術 清水正子 製作主催 ワンウェイフィルム

* 予告編視聴 26 万回突破 <https://youtu.be/BE58kwKD6Cg>

* FB『華の季節』グループ <https://onl.tw/H4gAdpQ>

* インスタ https://www.instagram.com/hananotoki_official/

* ワンウェイフィルム <https://www.facebook.com/nicola797/about>

* ツイッター <https://twitter.com/hananotokimovie>

監督・脚本/片岡れいこ…映画監督、版画家、マルチクリエイター。京都市出身。京都市立堀川高校、京都市立芸術大学美術学部卒業。グラフィックデザイナーとして京都で8年間の勤務を経てイギリス留学後に独立。著書『京都レトロモダン建物めぐり』『京都パンで巡るおいしい古民家』（メイツ出版）など、京都をテーマにした著書多数出版。日本版画協会準会員。近年、自身の目標であった総合芸術である映画製作にたどり着き、2020年、京都を舞台にしたノスタルジック・ファンタジー初監督長編映画『人形の家』を大阪シアターセブンで初公開上映。短編コメディ『もてもてピエロ』夕張映画祭（鉄ドン）上映、イタリア night of comedy shorts セミファイナリスト。2022年『ネペンテスの森』大阪シアターセブンで公映。2023年『華の季節』で、念願の京都でのプレミアロードショーが実現する。

* アトリエニコラ URL <http://a-nicola.com/>